

令和 8 年度

人吉高等学校 定時制課程

シラバス

3 年

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2	開講 学年	3年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 社会生活に役立つ国語の知識や技能を習得するとともに、表現の特性や効果などについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 社会生活における様々な事象を対象に、目的や場面、相手に応じて、論理的、創造的に思考し、自分の考えを効果的に表現する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 言葉のもつ価値を認識するとともに、相手を尊重して伝え合い、言葉を通して自己を向上させようとする態度や、社会生活の向上に寄与しようとする態度を養う。</p>
------	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (16時間)	<p>【言語事項】② 漢字の学び直し</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。</p> <p>(思判表) 主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった</p> <p>(主体性) 習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【言葉と出会う】⑭</p> <p>1 言葉と表記 2 整った文を書く 3 相手に応じた言葉遣い 4 わかりやすい文を書く 5 文のつなぎ方 実践トレーニング① 表現への扉1 漢字使い分けミニ辞典 * 単元テスト</p>	<p>(知 技) 書き方の基本を理解することができるようになった。</p> <p>(思判表) 原稿用紙(縦書き・横書き)の使い方を確認し、相手に伝えることを意識して分かりやすい文章を書くことができるようになった。</p> <p>(主体性) 書くことや言葉の使い分けに関する文章を読み、自らの表現に活かすことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
前期期末 まで (16時間)	<p>【言語事項】② 漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。</p> <p>(思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。</p> <p>(主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>

	<p>【伝える、伝え合う】⑭</p> <p>1 自己紹介ゲーム 2 言葉のストレッチ体操 3 絵や写真を見て書く 4 マイニュース記事を書こう</p> <p><b>表現への扉2</b> <b>話し合いのいろいろ</b> <b>* 単元テスト</b></p>	<p>(知 技) 自分の伝えたいことを表現するための基本を理解し、話したり書いたりすることで表現できるようになった。 (思判表) 自分の伝えたいことを説得力を持たせて表現できるようになった。 (主体性) 思いを表現する活動から、他者とのコミュニケーション力を高めることができたようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度 課題提出</p>
<p>後期中間 まで (18 時間)</p>	<p>【言語事項】②</p> <p>漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けられるようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができたようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【小論文・レポート入門】⑩</p> <p>1 小論文とは何か 2 反論を想定して書く 3 文章を読み取って書く 4 統計資料を読み取って書く 5 発想を広げて書く 6 レポートを書く 7 論文を書くために</p> <p><b>表現への扉3</b> <b>* 単元テスト</b></p>	<p>(知 技) 小論文やレポートの基本的な書き方を理解し、実際に小論文やレポートを書くことができたようになった。 (思判表) 情報を収集・分析し、自分の考えを深め、それを効果的に伝えられるよう、論理の構成、文体などについて考えることができたようになった。 (主体性) 現代社会に関する文章や資料を読み取り、それに対する自分の意見をまとめることができたようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 相互評価・自己評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【表現の実践】④</p> <p>日常生活の正しい過ごし方</p>	<p>(知 技) 接続表現を正しく効果的に用い、適切な表記や表現を意識することができるようになった。 (思判表) 日常生活について、自分の意見や理由を明確に示すことができたようになった。 (主体性) 日常生活の中の題材について、その方法の説明を自身の生活に照らし合わせ、ユーモアを用いて表現できるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 相互評価・自己評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【読書】①</p>	<p>(知 技) 人定図書室の図書の配置や貸し出しのルールを習得し、興味ある本の選書ができるようになった。 (思判表) 読書の持つ意味について考えることが</p>	<p>(知 技) 選書し読書する (思判表) 選書し読書する</p>

		<p>できるようになった。</p> <p>(主体性) 学力向上に深く関わりがある読書活動に興味関心を持つことができるようになった。</p>	<p>(主体性) 選書し読書する</p>
<p>後期期末 まで (16 時間)</p>	<p>【言語事項】② 漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。</p> <p>(思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。</p> <p>(主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【自己PRと面接】⑪ 1 自分を見つめて 2 効果的な自己PR 3 将来の自分を考えよう 4 志望理由を書こう 5 自己推薦書や学修計画書を書く 6 面接にチャレンジ 7 グループディスカッションをしよう</p> <p><b>実践トレーニング②</b> <b>表現への扉 4</b> <b>話し合いのいろいろ</b> <b>* 単元テスト</b></p>	<p>(知 技) 自分の長を他者に的確に伝える方法を身に付けることができるようになった。</p> <p>(思判表) 多角的に物事を見、情報を収集することで、自分のことを表現することができるようになった。</p> <p>(主体性) 自分自身のこれまでの生き方やこれからの生き方について考えることができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 相互評価・自己評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【表現の実践】③ 「私の虫類図譜」を作ろう</p>	<p>(知 技) 意図が伝わるよう、適切な語句や文体を選び、表現技法などを効果的に用いることができるようになった。</p> <p>(思判表) 設定したテーマをユーモアや皮肉などを効果的かつ的確に文章に表し、特徴をわかりやすく絵で表現できるようになった。</p> <p>(主体性) 学習の狙いや創作の方法をよく理解して学習に積極的に取り組み、他者の批評を自分の表現活動に生かすことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 相互評価・自己評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度 課題提出</p>
<p>終業式 まで (4 時間)</p>	<p>【言語事項】④ 漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。</p> <p>(思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。</p> <p>(主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】国語表現（大修館書店） 【その他】「実践文字カトリプルチェック」、「同準拠ノート」（尚文出版）</p>
<p>学習方法</p>	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復習に力をいれ、教科書・ワークシート等を見直し内容を再確認し、疑問点を明らかにする。</li> <li>・基礎的事項の繰り返し学習で、知識・技能の定着に努める。</li> <li>・板書を写すだけでなく、必要に応じてメモをとる習慣を身に付ける。</li> </ul> <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見・感想を持つことから始め、考えを文章にまとめることを丁寧に繰り返す。</li> <li>・授業者や他の生徒の意見、先哲の考え方などにも耳を傾ける。</li> </ul> <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を本時の学習内容と関連付けて、自分の考えをより深いものとし、さらに自分の考えを上げる。</li> </ul>
<p>評価方法</p>	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト</li> <li>・発問に対する解答や反応の観察</li> <li>・ワークシート・課題作文等</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席・授業態度・ワークシート（振り返りができているか）・提出物</li> </ul>

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	地歴	科目	歴史総合	単位数	2	開講 学年	3年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

<p>学習目標</p> <p>何ができるようになるか</p>	<p>歴史的な見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、近現代の歴史の変化に関わる諸事象を、世界的な視野及び日本と関連付けて考察し、現代的な諸課題を歴史的背景から把握する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 現代の歴史に関わる諸事象について、歴史の推移や変化、枠組みなどを広域的な視点から理解するとともに、諸資料から歴史に関する情報を適切に収集し、読み取ったりまとめたりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 歴史に関わる諸課題を見だし、資料に基づき、変化や因果関係、相互の関連、時代区分などを多角的な視点から論理的に考察し、自らの考えを根拠とともに説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 歴史に関わる諸事象への関心を高め、それらを主体的に探究しようとする態度を養うとともに、現代社会の諸課題を歴史的背景から把握し、多文化共生や持続可能な社会の形成など、よりよい社会を築こうとする態度を養う。</p>
--------------------------------	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価
前期中間 まで (16時間)	●単元：4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	<p>(知 技) ●欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。</p> <p>(思判表) ●「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、自らの言葉で表現している。</p> <p>(主体性) ●欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	<p>(知 技)                      考査                      シート提出                      課題提出                      (思判表)                      考査                      シート提出                      課題提出                      (主体性)                      考査                      シート提出                      課題提出                      授業態度</p>
	●2節：5章 近代化が進む日本と東アジア	<p>(知 技) ●明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。</p> <p>(思判表) ●明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自らの言葉で表現している。</p> <p>(主体性) ●明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	<p>(知 技)                      考査                      シート提出                      課題提出                      (思判表)                      考査                      シート提出                      課題提出                      (主体性)                      考査                      シート提出                      課題提出                      授業態度</p>

<p>前期期末 まで (16時間)</p>	<p>3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1章：第一次世界大戦と日本の対応</li> <li>● 2章：国際協調と大衆社会の広がり</li> </ul>	<p>(知 技) ●国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。</p> <p>(思判表) ●第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、自らの言葉で表現している。</p> <p>(主体性) ●勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	<p>(知 技)          考査          シート提出          課題提出          (思判表)          考査          シート提出          課題提出          (主体性)          考査          シート提出          課題提出          授業態度</p>
<p>後期中間 まで (18時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3章：日本の行方と第二次世界大戦</li> <li>● 4章：再出発する世界と日本</li> </ul>	<p>(知 技) ●世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。</p> <p>(思判表) ●ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、自らの言葉で表現している。</p> <p>(主体性) ●世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p> <p>(知 技) ●冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解している。</p> <p>(思判表) ●国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、自らの言葉で表現している。</p> <p>(主体性) ●大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	<p>(知 技)          考査          シート提出          課題提出          (思判表)          考査          シート提出          課題提出          (主体性)          考査          シート提出          課題提出          授業態度</p> <p>(知 技)          考査          シート提出          課題提出          (思判表)          考査          シート提出          課題提出          (主体性)          考査          シート提出          課題提出          授業態度</p>
<p>後期期末 まで (16時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3章：グローバル化のなかの世界と日本</li> </ul>	<p>(知 技) ●冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。</p> <p>(思判表) ●グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自らの言葉で表現している。</p> <p>(主体性) ●冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	<p>(知 技)          考査          シート提出          課題提出          (思判表)          考査          シート提出          課題提出          (主体性)          考査          シート提出</p>

			課題提出 授業態度
終業式 まで (4時間)	●第1節：冷戦の終結と変わる世界構造	(知 技) ●冷戦の終結により、グローバル化が進み、世界構造が変化したことを理解している。 (思判表) ●冷戦の終結によって、なぜ地域紛争が勃発したり、地域統合が進展したりしたのかについて考察し、表現している。 (主体性) ●地球社会が抱える課題の深刻さが実感でき行動をイメージできるようになった	(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】：明解 歴史総合（帝国書院）		
学習方法  どのように学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない文章や言葉があれば、「チェック」を付け、できるだけ調べておくこと</li> <li>・教科書を読んで、「なぜ?」「どうして?」と思ったことを記録しておくこと</li> </ul> <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問に思ったことや与えられた課題に対して、自分なりの考えをもって授業に参加すること。</li> <li>・分からなかったことや疑問に思っていたことを、クラスの仲間と対話しながら解決する姿勢で授業に参加すること。</li> </ul> <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの仲間や先生との対話から、新しい発見や、さらなる疑問を見出し、それまでの自分の見方や考え方よりも、より広く深い見方や考え方ができるようになることを目指すこと</li> </ul>		
評価方法  学習到達状況をどのように確認するか	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの課題レポート</li> <li>・定期考査</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・単元ごとの課題レポート</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Google Classroomにおけるシート提出</li> <li>・学習課題や授業に取り組む態度など</li> </ul>		

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	3	開講 学年	3年 A類型
----	----	----	-----	-----	---	----------	-----------

<p>学習目標</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">何ができるようになるか</p>	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念や性質を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 数学的な手法等を用いて、論理的に考察する力、事象の本質を捉え、数学的に表現し、根拠を明らかにしつつ筋道立てて説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 数学のよさを認識し、数学を問題解決や意思決定に活用しようとする態度、粘り強く考え、数学的活動を振り返って検討し、よりよいものを求めようとする態度を養う。</p>
---	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	自己評価欄
前期中間 まで (24時間)	<p>●複素数と方程式 複素数と方程式 複素数と2次方程式</p> <p style="text-align: right;">24時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 次の乗法公式を理解し、それを用いて式の展開ができる。</li> <li>・3 次の因数分解の公式を理解し、それを用いて因数分解ができる。</li> <li>・パスカルの三角形を用いて、式の展開ができる。</li> <li>・二項定理を用いて、式の展開ができる。</li> <li>・分数式の約分ができる。</li> <li>・分数式の四則計算ができる。</li> <li>・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算ができる。</li> <li>・2 次方程式の解の公式と判別式との関係が理解できる。</li> <li>・判別式を用いて2 次方程式の解の判別ができる。</li> <li>・2 次方程式の解と係数の関係を理解し、2 つの解の和と積を求めることができる。</li> <li>・2 つの数を解とする2 次方程式を求めることができる。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 次の乗法公式を、2 次式の場合と関連付けて多面的に考察できる。</li> <li>・3 次の因数分解の公式を、既に学習した2 次式の場合と関連付けて多面的に考察できる。</li> <li>・組合せの総数と式の展開との関係を考察できる。</li> <li>・分数式の計算の方法を、既に学習した分数の計算と関連付けて多面的に考察できる。</li> <li>・複素数の四則計算の方法を、既に学習した数や式の計算と関連付けて、同様な点や異なる点を考察できる。</li> <li>・文字定数をふくむ2 次方程式について、判別式を用いて文字定数の値を考察できる。</li> <li>・式の値を計算する際に、適切に式を変形すると解と係数の関係を利用できることを考察できる。</li> </ul> <p>(主体性)</p>	<p>知 技 ABC</p> <p>思判表 ABC</p> <p>主体性 ABC</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3 次の乗法公式を数の計算に活用しようとしている。</li> <li>・3 次の因数分解の公式を用いて、粘り強く因数分解しようとしている。</li> <li>・パスカルの三角形に関心をもっている。</li> <li>・二項定理を用いて、粘り強く式の展開をしようとしている。</li> <li>・分数の計算をふり返りながら、分数式の計算を考えようとしている。</li> <li>・数を複素数まで拡張していく過程を調べようとしている。</li> <li>・2次方程式を解かなくても解の判別ができる判別式の良さがわかり、いろいろな2次方程式の解の判別をしようとしている。</li> <li>・解と係数の関係を用いて、いろいろな式の値を考えようとしている。</li> </ul>	
<p>前期期末 まで (24 時間)</p>	<p>高次方程式 式と証明</p> <p style="text-align: center;">1 3 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整式の除法ができる。</li> <li>・わられる式, わる式, 商, 余りの関係が理解できる。</li> <li>・剰余の定理を理解し, それを用いて整式 <math>P(x)</math> を <math>x-a</math> でわったときの余りを求めることができる。</li> <li>・因数定理を理解し, それを用いて, 与えられた整式が整式 <math>P(x)</math> の因数かどうかを調べることができる。</li> <li>・因数分解の公式を利用したり因数定理を利用したりすれば高次方程式が解けることがわかる。</li> <li>・左辺と右辺の別々に計算することで, 等式の証明をすることができる。</li> <li>・ひき算を利用して, 不等式の証明をすることができる。</li> <li>・相加平均と相乗平均の関係が理解できる。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商 <math>Q</math> や余り <math>R</math> などが与えられているときに, <math>A=B \times Q+R</math> の関係を用いて, わる式 <math>B</math> を求めることができる。</li> <li>・剰余の定理と因数定理の関係を考察できる。</li> <li>・因数定理を利用して, 3 次以上の整式を因数分解できる。</li> <li>・式の一部を文字で置き換えたり, 因数定理を利用したりして, 式を多面的に考察し, 高次方程式が解ける。</li> <li>・条件のある等式を証明する方法を考察できる。</li> <li>・相加平均・相乗平均の関係を考察できる。</li> <li>・相加平均・相乗平均の関係をを利用して, 不等式の証明ができる。</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数のわり算をふり返りながら, 整式のわり算を考えようとしている。</li> <li>・剰余の定理と因数定理とを関連づけながら考えようとしている。</li> <li>・因数定理などを利用して, いろいろな高次方程式を解こうとしている。</li> <li>・等式を証明するには左辺-右辺が0になることを示してもよいことがわかり, これを利用して証明をし</li> </ul>	<p>知 技 A B C 思判表 A B C 主体性 A B C</p>

		<p>ようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不等式の証明について粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。</li> </ul>	
	<p>●いろいろな関数 指数関数 対数関数</p> <p>1 1 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指数が整数の場合について、指数法則を用いて計算できる。</li> <li><math>\sqrt[3]{27}</math> などの値を求めることができる。</li> <li>累乗根の性質を用いて計算ができる。</li> <li>指数が分数で表された数を、累乗根を用いて表すことができる。</li> <li>指数が分数の場合について、指数法則を用いて計算できる。</li> <li>指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解できる。</li> <li>指数関数の特徴を用いて、数の大小を調べることができる。</li> <li>指数と対数との関係を理解できる。</li> <li>対数の定義に基づいて、対数の値を求めることができる。</li> <li>対数の性質を理解できる。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指数を正の整数から、0 や負の整数に拡張していく過程を考察できる。</li> <li>数学 I で学んだ平方根の知識を利用して、累乗根やその性質を考察できる。</li> <li>累乗根を含む式の計算について、指数法則を利用して考察できる。</li> <li>指数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察できる。</li> <li>指数関数を利用して、指数に <math>x</math> を含む方程式を考察できる。</li> <li>指数と対数を相互に関連付けて考察できる。</li> <li>対数の性質を利用して、対数の計算をすることを考察できる。</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校や数学 I で学んだことをふり振り返りながら、指数法則や累乗根の性質を考えようとしている。</li> <li>身の回りの現象で、指数関数のような変化をするものを調べようとしている。</li> <li>指数と対数の関係に関心をもっている。</li> <li>対数の性質を利用して、いろいろな対数の計算をしようとしている。</li> </ul>	<p>知 技 A B C 思判表 A B C 主体性 A B C</p>
<p>後期中間 まで (27 時間)</p>	<p>対数関数 三角関数 加法定理／弧度法</p> <p>2 7 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解できる。</li> <li>対数関数の特徴を用いて、対数の値の大小を調べることができる。</li> <li>対数表を用いて、常用対数の値を求めることができる。</li> <li>角の概念を一般角まで拡張する意義について理解できる。</li> <li>一般角について三角関数の値を求めることができる。</li> </ul>	<p>知 技 A B C 思判表 A B C 主体性 A B C</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数の相互関係の式を理解できる。</li> <li>・三角関数の性質を利用して、いろいろな三角関数の値を求めることができる。</li> <li>・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解できる。</li> <li>・三角関数の加法定理を理解し、それを用いて三角関数の値を求めることができる。</li> <li>・2倍角の公式や三角関数の合成を理解できる。</li> <li>・度数法で表された角度を弧度法で表すことができる。</li> <li>・扇形の弧の長さや面積を、弧度法を用いて求めることができる。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察できる。</li> <li>・常用対数や対数の性質を利用して、整数の桁数を調べることを考察できる。</li> <li>・<math>\theta + 360^\circ \times n</math> で表される動径は、<math>\theta</math> の動径と一致することが考察できる。</li> <li>・鈍角の三角比の考え方を利用して、一般角で定義された三角関数を考察できる。</li> <li>・三角関数の相互関係を利用して、1つの三角関数の値から残りの三角関数の値が求められることを考察できる。</li> <li>・三角関数の性質を、図形的に考察できる。</li> <li>・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察できる。</li> <li>・三角関数の加法定理を導く過程を図形的に考察できる。</li> <li>・三角関数の加法定理を利用して2倍角の公式や三角関数の合成を導くことを考察できる。</li> <li>・2倍角の公式を利用して、<math>\sin 2\alpha</math> や <math>\cos 2\alpha</math> の値が求められることを考察できる。</li> <li>・「度」と「ラジアン」の関係を考察できる。</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの現象で、対数関数のような変化をするものを調べようとしている。</li> <li>・常用対数を利用して、いろいろな整数の桁数を調べようとしている。</li> <li>・身の回りの事象から一般角で表すことのできるものを見つけようとしている。</li> <li>・いろいろな一般角 <math>\theta</math> について、三角関数の値を求めようとしている。</li> <li>・数学 I で学んだことをふり振り返りながら、三角関数の相互関係を考えようとしている。</li> <li>・三角関数の性質を用いていろいろな三角関数の値を調べようとしている。</li> <li>・コンピュータなどを利用して、いろいろな三角関数のグラフをかき、その特徴を調べようとしている。</li> <li>・三角関数の加法定理の良さがわかっている。</li> <li>・加法定理からいろいろな公式が導けることがわかり、粘り強く考えようとしている。</li> <li>・いろいろな角度を弧度法で表そうとしている。</li> </ul>	
--	--	---	--

<p>後期期末 まで (24 時間)</p>	<p>●微分と積分 微分の考え</p> <p>2 4 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記号 <math>f(x)</math> を理解し、関数の値 <math>f(a)</math> を求めることができる。</li> <li>・関数の平均変化率を求めることができる。</li> <li>・簡単な場合について極限值を求めることができる。</li> <li>・微分係数の意味について理解し、微分係数を求めることができる。</li> <li>・導関数の意味について理解し、導関数を求めることができる。</li> <li>・関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。</li> <li>・微分係数を用いて、接線の傾きを求めることができる。</li> <li>・導関数を用いて、2 次関数や 3 次関数の値の増減を調べることができる。</li> <li>・導関数を用いて、2 次関数や 3 次関数の極大・極小を調べることができる。</li> <li>・定義域が制限された関数の最大値と最小値を求めるには、両端の関数の値と極値を調べればよいことがわかる。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均変化率を図形的に考察できる。</li> <li>・平均変化率で、<math>x</math> の変化量を 0 に近づけることを考察できる。</li> <li>・関数 <math>x^n</math> とその導関数との関係について考察できる。</li> <li>・積の形で表された関数について、展開してから導関数を求めることを考察できる。</li> <li>・微分係数と直線の方程式を利用して、接線の方程式を求めることを考察できる。</li> <li>・導関数の値の正負と、グラフの増減との関係を考察できる。</li> <li>・導関数を用いて、3 次関数のグラフをかくことができる。</li> <li>・導関数を用いて、3 次関数の最大値、最小値を求めることができる。</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均の速さと瞬間の速さを理解し、平均変化率や極限值を調べようとしている。</li> <li>・いろいろな関数の導関数を調べようとしている。</li> <li>・いろいろな関数のグラフにおける接線の傾きや方程式を調べようとしている。</li> <li>・関数の局所的な変化に着目することの良さがわかり、その変化を調べようとしている。</li> </ul>	<p>知 技 A B C 思判表 A B C 主体性 A B C</p>
<p>終業式 まで (6 時間)</p>	<p>●微分と積分 積分の考え</p> <p>6 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不定積分が微分の逆演算であることを理解できる。</li> <li>・いろいろな多項式関数の不定積分を求めることができる。</li> <li>・定積分の意味を理解し、定積分を求めることができる。</li> <li>・関数の定数倍、和及び差について、不定積分と同様に定積分を考えられることがわかる。</li> </ul>	<p>知 技 A B C 思判表 A B C 主体性 A B C</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定積分を利用して、放物線と <math>x</math> 軸とで囲まれた図形の面積を求めることができる。</li> <li>・<math>x</math> 軸より下にある図形の面積や、2 曲線で囲まれた部分の面積の求め方を理解できる。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件のついた不定積分を考察できる。</li> <li>・定積分の性質を利用して、多項式関数の定積分を求めることができる。</li> <li>・定積分を図形的に考察できる。</li> <li>・<math>x</math> 軸より下にある図形の面積について、グラフと <math>x</math> 軸との交点を調べ、定積分を利用して求めることができる。</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・微分の考えをふり返りながら、不定積分を考えようとしている。</li> <li>・不定積分をふり返りながら、定積分を考えようとしている。</li> <li>・定積分を用いて図形の面積を求められることに興味をもち、いろいろな図形について面積を求めようとしている。</li> </ul>	
--	--	--	--

使用教材 参考図書	<p>【教科書】：実教出版 高校数学Ⅱ</p> <p>【その他】：</p>
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なぜ」という疑問を大切にし、問題解決の過程を重視するよう努めてください。</li> <li>・数学と生活との関連に目を向け、問題解決の目的意識をもち、数学を活用しようと努めてください。</li> </ul> <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着眼点や発想を、まずは自分なりに表現するよう努めてください。さらに、お互いに理解し合えるように分かりやすく説明し表現しようと努めてください。</li> </ul> <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように考えたら上手くできたのか、どのようなことを利用したのか、以前に学習した内容と似ているところはないか、などのように、新たに学んだことを振り返るようにしてください。</li> </ul>
評価方法	<p>【知識・技能】について</p> <p>定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します。</p> <p>【思考・判断・表現】について</p> <p>定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <p>授業中の発表、質問、課題への取り組み等によって評価します。</p>

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	理科	科目	化学	単位数	3	開講 学年	3年
----	----	----	----	-----	---	----------	----

学習目標	<p>化学的な見方・考え方を働かせ、科学的な探究の過程を通して、物質やその変化を科学的に捉える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 物質やその変化を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるとともに、化学の基本的な概念を日常生活や社会と関連付けて理解するようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 観察、実験などを行い、物質やその変化の中から課題を見だし、科学的に探究し、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 物質やその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、化学を生活や社会に生かそうとする態度を養う。</p>
	<p>何ができるようになるか</p>

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (24時間)	<p>1 編 物質の状態</p> <p>第1章 固体の構造</p> <p>1 結晶とアモルファス</p> <p>2 金属結晶</p> <p>3 イオン結晶</p> <p>4 分子間力と分子結晶</p> <p>5 共有結合の結晶</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単格子や配位数の意味について理解できた。</li> <li>・アモルファス金属がもつ、通常の金属にはない特徴を理解できた。</li> <li>・金属の結晶格子の名称や配位数、単格子中の原子の数、充填率について理解できた。</li> <li>・単格子の一辺の長さから金属の原子半径を求める方法を理解できた。</li> <li>・各結晶格子について、配位数、単格子中のイオンの数、組成式について理解できた。</li> <li>・分子間力にはファンデルワールス力や水素結合があることを理解できた。</li> <li>・分子間力と物質の沸点に関係があることを理解できた。</li> <li>・ダイヤモンドと黒鉛の構造の違いを理解できた。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結晶質と非晶質の構造の違いを説明することができた。</li> <li>・金属の結晶格子の名称や配位数、単格子中の原子の数、充填率を説明することができた。</li> <li>・単格子の一辺の長さから金属の原子半径を求める方法を説明することができた。</li> <li>・結晶格子に関する知識を用い、密度を求めることができた。</li> <li>・イオン結晶の違いについて、結晶格子中の配位数やイオンの数に着目しながら説明することができた。</li> <li>・水素化合物の分子量と沸点の関係について理解できた。</li> </ul> <p>ダイヤモンドと黒鉛の性質について、結晶構造に基づきながら説明することができた。</p> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な物質でアモルファスに分類されるものには何があるか興味をもつことができた。</li> <li>・金属の結晶格子における原子の配列の仕方に興味をもつことができた。</li> </ul>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト</li> <li>・実験の操作</li> <li>・定期考査</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題演習</li> <li>・実験の考察</li> <li>・定期考査</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験レポート</li> <li>・授業の振り返り</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の沸点に興味をもつことができた。</li> </ul>	
	<p>第2章 物質の状態変化</p> <p>1 粒子の熱運動</p> <p>2 三態の変化とエネルギー</p> <p>3 気液平衡と蒸気圧</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気体分子の熱運動と運動エネルギー、温度の関係について理解できた。</li> <li>・状態変化の際に放出または吸収するエネルギーの名称を理解できた。</li> <li>・加熱による物質の温度変化を表した図において、グラフと物質の状態の関係を理解できた。</li> <li>・物質を構成する粒子間にはたらく力の大小について理解できた</li> <li>・大気圧に関して、単位を含めて理解できた。</li> <li>・気液平衡の考え方が理解できた。</li> <li>・蒸気圧および蒸気圧曲線について理解できた。</li> <li>・蒸気圧と沸騰の関係について理解できた。</li> <li>・状態図のそれぞれの曲線や点の名称について理解できた。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拡散を熱運動に関連づけて説明できるようになった。</li> <li>・加熱による物質の温度変化を表した図において、融解熱や蒸発熱にあたる部分を判断することができた</li> <li>・比熱や融解熱、蒸発熱を用いて状態変化に必要な熱量を計算することができるようになった。</li> <li>・蒸気圧曲線から物質の蒸気圧や沸点を判断することができるようになった。</li> <li>・状態図を用いることで、ある温度・圧力における物質の状態を判断することができるようになった。</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粒子の熱運動に興味をもち、意欲的に活動できた。</li> <li>・物質の状態変化について興味をもち、意欲的に活動できた。</li> <li>・大気圧や蒸気圧について興味をもち、意欲的に活動できた。</li> </ul>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト</li> <li>・実験の操作</li> <li>・定期考査 (思判表)</li> <li>・問題演習</li> <li>・実験の考察</li> <li>・定期考査 (主体性)</li> <li>・実験レポート</li> <li>・授業の振り返り</li> </ul>
<p>前期期末 まで (24 時間)</p>	<p>第3章 気体</p> <p>1 気体の体積</p> <p>2 気体の状態方程式</p> <p>3 混合気体の圧力</p> <p>4 実在気体</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気体の体積や圧力、絶対温度について理解できた。</li> <li>・ボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則を理解し、それらの式を用いることができた。</li> <li>・気体には状態方程式が成り立つことを理解できた。</li> <li>・分圧の法則について理解できた。</li> <li>・分圧や体積の比とモル分率の関係を理解できた。</li> <li>・混合気体の分圧や全圧を求めることができるようになった。</li> <li>・理想気体と実在気体の違いについて理解できた。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則をそれぞれ適切に使い、気体の圧力や体積、温度を求めることができる。</li> <li>・状態方程式から気体の分子量や密度を求めることができる。</li> <li>・モル分率を用いた平均分子量の考え方を理解し、モル分率を用いて平均分子量を求めることができる。</li> <li>・分圧の考え方をを用いて、水上置換で捕集した気体の</li> </ul>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト</li> <li>・実験の操作</li> <li>・定期考査 (思判表)</li> <li>・問題演習</li> <li>・実験の考察</li> <li>・定期考査 (主体性)</li> <li>・実験レポート</li> <li>・授業の振り返り</li> </ul>

		<p>分圧を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理想気体と実在気体の違いに基づき、実在気体を理想気体に近づける条件を判断することができる。</li> <li>（主体性）</li> <li>・気体の体積や圧力、絶対温度の関係性について興味をもつ。</li> <li>・気体の体積、圧力、温度、物質にはそれぞれどのような関係が成り立つのかを、状態方程式をもとに興味をもつ。</li> </ul>	
	<p>第4章 溶液</p> <p>1 溶解とそのしくみ</p> <p>2 溶解度</p> <p>3 希薄溶液の性質</p> <p>4 コロイド溶液</p>	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水和水という現象が理解できた。</li> <li>・水への溶解には分子の極性の有無が関係していることを理解できた。</li> <li>・飽和溶液において成立する溶解平衡について理解できた。</li> <li>・溶解度や再結晶について理解したうえで、水和水をもつ物質の溶解量に関する考え方を理解できた。</li> <li>・気体の溶解に関するヘンリーの法則について理解できた。</li> <li>・質量モル濃度について理解したうえで、その値を求めることができるようになった。</li> <li>・溶液では、蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧という現象が起こることを理解できた。</li> <li>・希薄溶液におけるこれらの現象は、溶質の種類に関係なく、溶質の粒子の数（質量モル濃度）にのみ依存することを理解できた。</li> <li>・冷却曲線と過冷却という現象について理解できた。</li> <li>・コロイドとコロイド溶液およびその分類について理解できた。</li> <li>・コロイド溶液が示す特徴的な現象について理解できた。</li> <li>・親水コロイドと疎水コロイドの沈殿について理解できた。</li> </ul> <p>（思判表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質を電解質や非電解質に分けることができるようになった。</li> <li>・分子を極性分子と無極性分子に分けることができ、水への溶解の可否を判断できるようになった。</li> <li>・水和水をもつ物質の溶解量を求めることができるようになった。</li> <li>・ヘンリーの法則を用いて、気体の溶解量を求めることができるようになった。</li> <li>・質量パーセント濃度やモル濃度、質量モル濃度を適切に使い、濃度の換算を行うことができるようになった。</li> <li>・沸点上昇度と質量モル濃度の関係について理解し、式を用いて計算をしたり沸点上昇度の大小を判断したりできるようになった。</li> <li>・凝固点降下度と質量モル濃度の関係について理解し、式を用いて計算をしたり凝固点降下度の大小を判断したりできるようになった。</li> <li>・沸点上昇や凝固点降下を利用することで分子量を求められることを理解し、その値を求めることができる</li> </ul>	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト</li> <li>・実験の操作</li> <li>・定期考査</li> <li>（思判表）</li> <li>・問題演習</li> <li>・実験の考察</li> <li>・定期考査</li> <li>（主体性）</li> <li>・実験レポート</li> <li>・授業の振り返り</li> </ul>

		<p>ようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸透圧とモル濃度、絶対温度の関係（ファンツホッフの法則）を理解し、それを利用することで分子量を求めることができるようになった。</li> <li>・塩析と凝析の違いについて説明できるようになった。</li> <li>・保護コロイドについて説明できるようになった。</li> </ul> <p>（主体性）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の溶解とそのしくみについて興味をもち、意欲的に取り組むことができた。</li> <li>・希薄溶液の示す現象について興味をもち、意欲的に取り組むことができた。</li> <li>・コロイドの起こす現象や身近なコロイドについて興味をもち、意欲的に取り組むことができた。</li> </ul>	
<p>後期中間 まで (27 時間)</p>	<p>第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー</p> <p>1 化学反応と熱 2 ヘスの法則 3 化学反応と光</p>	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学反応に伴って放出または吸収する熱量をエンタルピー変化を用いて表すことが理解できた。</li> <li>・発熱反応，吸熱反応とエンタルピー変化<math>\Delta H</math>の正負の関係が理解できた。</li> <li>・エンタルピー変化を付した反応式とエンタルピー変化を表した図を理解し、それぞれを作ることができるようになった。</li> <li>・反応エンタルピーの種類を理解できた。</li> <li>・反応エンタルピーの実験的な測定方法について理解できた。</li> <li>・ヘスの法則が理解できた。</li> <li>・結合エネルギーの定義について理解できた。</li> <li>・化学反応には，光を放出または吸収するものもあることが理解できた。</li> <li>・光が関わる具体的な化学反応や現象が理解できた。</li> </ul> <p>（思判表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反応エンタルピーの種類を判断することで，エンタルピー変化を付した反応式を書いたり，反応エンタルピーを求めたりすることができるようになった。</li> <li>・ヘスの法則を利用し，与えられたエンタルピー変化を適切に用いることで，目的のエンタルピー変化を求めることができるようになった。</li> <li>・光が関わる化学反応や現象について，エンタルピー変化の正負を判断できるようになった。</li> </ul> <p>（主体性）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学反応に関わるエンタルピー変化に興味をもち、意欲的に取り組むことができた。</li> <li>・ヘスの法則およびその利用について興味をもち、意欲的に取り組むことができた。</li> <li>・化学反応に伴う光の放出や吸収について興味をもち、意欲的に取り組むことができた。</li> </ul>	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト</li> <li>・実験の操作</li> <li>・定期考査（思判表）</li> <li>・問題演習</li> <li>・実験の考察</li> <li>・定期考査（主体性）</li> <li>・実験レポート</li> <li>・授業の振り返り</li> </ul>
	<p>第2章 電池と電気分解</p> <p>1 電池 2 電気分解</p>	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電池のしくみとダニエル電池について理解できた。</li> <li>・電池のしくみに基づいて鉛蓄電池，燃料電池の構造や両極で起こる反応式について理解できた。</li> <li>・実用電池の具体例をその種類（一次電池または二次電池）を含めて理解できた。</li> <li>・陽極で酸化反応が，陰極で還元反応が起こることが</li> </ul>	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト</li> <li>・実験の操作</li> <li>・定期考査（思判表）</li> <li>・問題演習</li> <li>・実験の考察</li> </ul>

		<p>理解できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水溶液の電気分解において陽極および陰極で具体的に起こる反応が理解できた。</li> <li>・ファラデーの法則が理解できた。</li> <li>・電気分解の工業的な利用について、その具体例を理解できた。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛蓄電池や燃料電池の構造に基づき、それぞれの電池で起こる現象が判断できる。</li> <li>・電池の両極での反応式を用いて、物質質量などの量的な計算ができる。</li> <li>・ある電解液を電気分解した際に陽極および陰極で反応する物質や発生する物質を判断できる。</li> <li>・ある電解液を電気分解した際の陽極および陰極での反応を反応式で書くことができる。</li> <li>・ファラデーの法則に基づき、電気分解の量的関係の計算ができる。</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電池について、その構造や両極で起こる反応、現象に興味をもつ。</li> <li>・電気分解およびその工業的な利用について興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査 (主体性)</li> <li>・実験の態度</li> <li>・授業の振り返り</li> </ul>
<p>後期期末 まで (24 時間)</p>	<p>第3章 化学反応の速さとしくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 化学反応の速さ</li> <li>2 反応条件と反応速度</li> <li>3 化学反応のしくみ</li> </ol>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学における反応速度の定義を理解する。</li> <li>・実験結果から反応速度を求める方法を理解する。</li> <li>・反応速度が速度定数とモル濃度を用いて表せることを理解する。</li> <li>・反応速度式のモル濃度の指数は実験によって決まることを理解する。</li> <li>・実験結果から、速度定数を求める方法を理解する。</li> <li>・反応速度に関わる要因として、温度、濃度、触媒があることを理解する。</li> <li>・触媒について、その役割や具体例、酵素が触媒であることを理解する。</li> <li>・活性化エネルギーについて理解する。</li> <li>・活性化エネルギーの大小と反応速度の関係について理解する。</li> <li>・活性化エネルギーと触媒や温度の関係について理解する。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反応速度の定義に基づいて、反応速度を求めることができる。</li> <li>・実験結果を適切に処理し、反応速度を求めることができる。</li> <li>・反応速度式を用いて実験結果の処理などを行い、反応速度や速度定数を求めることができる。</li> <li>・反応速度に関わる条件に基づき、条件を変えることで反応速度がどのように変化するのかを判断することができる。</li> <li>・触媒を用いると反応速度が大きくなる理由を、活性化エネルギーを用いて説明できる。</li> <li>・温度を大きくすると反応速度が大きくなる理由を、活性化エネルギーを用いて説明できる。</li> </ul>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト</li> <li>・実験の操作 (思判表)</li> <li>・問題演習</li> <li>・実験の考察</li> <li>・定期考査 (主体性)</li> <li>・実験レポート</li> <li>・授業の振り返り</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・触媒を用いた際に反応エンタルピーがどのようになるか判断できる。</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反応速度について興味をもつ。</li> <li>・反応速度に関わる反応条件について興味をもつ。</li> <li>・化学反応のしくみと活性化エネルギーを用いた考え方に興味をもつ。</li> </ul>	
	<p>第4章 化学平衡</p> <p>1 可逆反応と化学平衡</p> <p>2 平衡状態の変化</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可逆反応, 化学平衡, 平衡状態の考え方を理解する。</li> <li>・化学平衡の法則を理解し, 与えられた反応の平衡定数を濃度を用いて記述することができる。</li> <li>・固体が含まれる反応の平衡定数の書き方を理解し, その平衡定数を濃度を用いて記述することができる。</li> <li>・液体どうしや気体どうしの反応における平衡定数の書き方を理解する。</li> <li>・ルシャトリエの原理について理解する。</li> <li>・濃度, 圧力, 温度を変化させた際に平衡がどちらに移動するか理解する。</li> <li>・触媒を用いた際に平衡がどのように変化するか理解する。</li> <li>・平衡移動の考え方の工業的製法への適用について理解する。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平衡定数を用い, 化学平衡における量的関係を求めることができる。</li> <li>・濃度, 圧力, 温度を変化させた際に平衡がどちらに移動するか, ルシャトリエの原理に基づいて判断できる。</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学平衡とその考え方に興味をもつ。</li> <li>・化学平衡における平衡移動について興味をもつ。</li> </ul>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト</li> <li>・実験の操作</li> <li>・定期考査 (思判表)</li> <li>・問題演習</li> <li>・実験の考察</li> <li>・定期考査 (主体性)</li> <li>・実験レポート</li> <li>・授業の振り返り</li> </ul>
<p>終業式 まで (6 時間)</p>	<p>第4章 化学平衡</p> <p>3 電解質水溶液の化学平衡</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電離平衡および電離定数, 水のイオン積について理解する。</li> <li>・電離度や電離定数を用いて, 水素イオン濃度や pH を求める方法を理解する。</li> <li>・弱酸, 弱塩基の遊離と塩の加水分解について理解する。</li> <li>・緩衝液の性質について理解する。</li> <li>・難溶性塩の水溶液中の溶解平衡および溶解度積について理解する。</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電離度や電離定数を用いて量的計算を行い, 水素イオン濃度や pH を求めることができる。</li> <li>・弱酸や弱塩基の遊離において起こる現象を判断することができる。</li> <li>・塩の加水分解の反応式を書くことができる。</li> <li>・溶解度積を用いて量的計算を行うことができる。</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電離平衡およびそれに関わるさまざまな現象について興味をもつ。</li> </ul>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元テスト</li> <li>・実験の操作 (思判表)</li> <li>・問題演習</li> <li>・実験の考察 (主体性)</li> <li>・実験レポート</li> <li>・授業の振り返り</li> </ul>

使用教材 参考図書	【教科書】：新編化学（数研出版）
学習方法  どのよう に学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を受ける前に教科書をしっかり読んでおくこと。</li> <li>・疑問点（詳しく知りたいと思った所やよく理解できなかった所）に印を付けておくこと。</li> </ul> <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問点の解決及び授業目標の達成に向けてクラスメイトと協力して授業を受けること。</li> </ul> <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で作成したノートを用い、その日のうちにその日の授業の流れを思い出すこと。</li> </ul>
評価方法  学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「実験操作」、「単元テスト」、「定期考査」など</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「実験の考察」、「確認テスト」、「定期考査」など</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「実験レポート」、「ノート」など</li> </ul>

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3	開講 学年	3年
----	------	----	----	-----	---	----------	----

<p>学習目標</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>何ができるようになるか</p> </div>	<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 各種運動の特性に応じた技能を身に付けるとともに、運動の意義や効果、学び方などを理解できるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 運動の特性に応じた自己の課題を見いだし、合理的、計画的な練習やきまりの工夫などを通して、課題の解決に向けた取組を工夫するとともに、自己や他者の考えを尊重し、合意形成を図るなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 運動に親しむとともに、ルールなどを尊重し、自己の責任を果たしたり、互いに協力したりして運動を実施しようとする態度、健康・安全を確保しようとする態度、スポーツを多角的に捉えて親しもうとする態度などを養う。</p>
--	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (24時間)	◎体づくり運動 ●球技Ⅰ (バドミントン・ソフトテニス) ※ネット型	(知 技) ●状況に応じたラケットの操作ができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
前期期末 まで (24時間)	●ダンス  ●球技Ⅱ (バレーボール) ※ネット型	(知 技) ●感じを込めて踊ったり自己や仲間の課題を解決したりできるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった  ※ネット型 (知 技) ●連携した動きをすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
後期中間 まで (27時間)	●球技Ⅲ (バドミントン) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●動きによって空間を作り出す攻防をすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
後期期末 まで (24時間)	●球技Ⅳ (バスケットボール・サッカー) ※ゴール型 ◎体育理論	※ゴール型 (知 技) ●空間を埋める動きができるようになった。 (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・端末での感想 (主体性) ・出席状況

終業式 まで (6時間)	◎体育理論 ※後期期末考査後から	※体育理論 (知 技) ●運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようになった	・授業態度
--------------------	---------------------	--	-------

使用教材 参考図書	【教科書】： なし 【その他】： なし
学習方法  どのように学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの課題に対してアドバイスを聞いたり、練習したりする。</li> <li>・種目の特性やルール、行い方などを調べる。</li> <li>・皆と協力して活動する。</li> </ul> <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間の課題に対してアドバイスしたり、課題を共有したりして改善するよう話し合う。</li> <li>・動画を確認して互いの課題解決に向けて練習する。</li> </ul> <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決の実践方法を得るなど、合理的な実践ができるように、ICT を有効活用し、課題解決に向けた調べ学習などを行う。</li> </ul>
評価方法  学習到達状況をどのように確認するか	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルテスト（実技）、端末等を使って動画撮影によるスキルテスト</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動、端末等を使っての授業の感想の提出</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の点呼（出席状況）、授業態度 等</li> </ul>
準備物	Chromebook 等の端末、 運動のできる服（夏：半袖シャツ、ハーフパンツ 冬季：上下ジャージ） 体育館シューズ、グラウンドシューズ※運動のできない服装での参加は不可。例：ジーパン、スカート、制服 等

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2	開講学年	3年
----	----	----	------	-----	---	------	----

<p>学習目標</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 10px;">                 何ができるようになるか             </div>	<p>生活の見方・考え方を働かせ、持続可能な社会の構築に向けて、生活の営みに係る個人、家族・家庭、地域及び社会との関わりについて、生活の自立と創造の観点から深く理解し、生活上の諸課題を解決する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能                  家族・家庭の在り方、発達と保育、高齢者の生活、衣食住、消費生活・環境などについて、生活の自立と創造に必要な知識を習得し、生活技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力                  生涯を見通した生活上の課題や地域・社会の課題について、多角的な視点から考察し、解決に向けて自ら判断して計画を立て、実践する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性                  家庭や地域社会をよりよくしようとする実践的な態度を養う。</p>
---	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	自己評価欄
前期中間 まで (16時間)	第4章 子どもの生活と子育ての マネジメント ・子どもの誕生 ・子どもの成長・発達	(知 技) ・妊娠、出産について理解できるようになった (思判表) ・自分が親になったときにどのようなことに気を付けるかを考えることができるようになった (主体性) ・胎児の成長と発達、母体の変化についてまとめることができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
前期期末 まで (16時間)	第4章 子どもの生活と子育ての マネジメント ・子どもの生活と保育 ・子育てと子どもが育つ 環境	(知 技) ・乳幼児の心身の発達や生活等について理解できるようになった (思判表) ・保育の重要性を考え、子どもの発達を支えるために家族や地域社会ができることを考えることができるようになった (主体性) ・発達に応じて適切に関わることができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
後期中間 まで (18時間)	第9章 食生活のマネジメント ・食生活の成り立ち ・調理の基本を学ぼう (調理実習)	(知 技) ・基本的な調理技術を身に付けることができるようになった (思判表) ・データを読み取りながら現代の食生活の特徴を分析することができるようになった (主体性) ・実習に必要な準備ができるようになった ・エプロン、三角巾、手洗いなどができ、必要な器具を準備できるようになった ・実習の材料等に関することを調べ、まとめることができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート ・実習記録 (思判表) ・定期考査 ・ワークシート ・実習記録 (主体性) ・定期考査 ・ワークシート ・実習記録
	第9章 食生活のマネジメント ・栄養と食品 ・安全で環境に配慮した食	(知 技) ・五大栄養素の働きと多く含む食品の特徴を理解することができるようになった ・基本的な調理技術ができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート ・実習記録

	生活 (調理実習)	(思判表) ・環境に配慮した食生活を送るために自分ができる行動を考えることができたようになった (主体性) ・エプロン、三角巾、手洗いなどができ、必要な器具を準備できるようになった ・実習の材料等に関することを調べ、まとめることができたようになった	(思判表) ・定期考査 ・ワークシート ・実習記録 (主体性) ・定期考査 ・ワークシート ・実習記録
後期期末 まで (16時間)	第9章 食生活のマネジメント ・食の文化を考えよう ・健康につながる食事計画 (料理講習会)	(知 技) ・地域の食文化や日本伝統の年中行事と食の関わりについて情報収集ができたようになった (思判表) ・ライフステージに合った食事計画を考えることができたようになった (主体性) ・エプロン、三角巾、手洗いなどができ、必要な器具を準備できるようになった ・実習の材料等に関することを調べ、まとめることができたようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート ・実習記録 (思判表) ・定期考査 ・ワークシート ・実習記録 (主体性) ・定期考査 ・ワークシート ・実習記録
	第11章 住生活のマネジメント ・住生活の成り立ち ・家族の生活と住空間	(知 技) ・日本と世界の住生活の違いなど、住まいと人との関わりについて理解できるようになった (思判表) ・ライフステージの特徴や課題に着目し、防災などの安全や環境に配慮した住生活を計画することができるようになった (主体性) ・日本の住生活の特徴について、まとめることができたようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
終業式 まで (4時間)	第11章 住生活のマネジメント ・健康で安全な住生活 ・よりよい住環境の実現をめざして	(知 技) ・日本と世界の住生活の違いなど、住まいの人との関わりについて理解できるようになった (思判表) ・ライフステージの特徴や課題に着目し、防災などの安全や環境に配慮した住生活を計画することができるようになった (主体性) ・日本の住生活の特徴について、まとめることができたようになった	(知 技) ・ワークシート (思判表) ・ワークシート (主体性) ・ワークシート
長期休業	ホームプロジェクト	(知 技) ・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解できるようになった ・目標を明確にし、計画を立てて実践できるようになった (思判表) ・生活の中から課題を見出し、課題解決に向けて思考を深め、適切に判断できるようになった ・見やすさなどを考え、スライドを作成し、発表することができるようになった (主体性) ・意欲をもって実践活動に取り組むことができたようになった	(知 技) ・ワークシート ・スライド (思判表) ・スライド ・発表 (主体性) ・スライド

<b>使用教材 参考図書</b>	<b>【教科書】:</b> <small>クリエイティブ リビング</small> 「Creative Living 『家庭総合』で生活をつくろう」大修館書店
<b>学習方法</b>  <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; width: fit-content;">         どのよう に学ぶか       </div>	<b>【主体的な学び】</b> に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業を受けながら、大切と感じた箇所等にアンダーラインを引く</li> <li>・ ホームプロジェクトにおいては、自らテーマを設定し、課題を見出し、その解決を図りながら、実践・改善等を行う</li> </ul> <b>【対話的な学び】</b> に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 单元ごとに新聞記事やグラフの読み取りを行い、自分の考えを記述し、班で意見交換を行う</li> </ul> <b>【深い学び】</b> に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書籍や新聞等を利用し、学んだこととリンクさせ、深い学びに繋げる</li> <li>・ 実験・実習を通して、知識を深める</li> </ul>
<b>評価方法</b>  <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; width: fit-content;">         学習到達状 況をどのよ うに確認す るか       </div>	<b>【知識・技能】</b> について 定期考査、単元小テスト、被服実習作品、 <b>【思考・判断・表現】</b> について 定期考査、被服実習作品、実習記録、ワークシート、発表、ホームプロジェクト <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> について 定期考査、被服実習、ワークシート、授業態度、ホームプロジェクト

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2	開講学年	3年
----	-----	----	--------------	-----	---	------	----

<p>学習目標</p> <p>何ができるようになるか</p>	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、日常的な話題や社会的な話題について、英語で的確に理解したり、適切に伝えたりする資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 日常的な話題や社会的な話題について、英語の音声や語彙、表現、文法事項などの知識を習得し、これらを実際のコミュニケーションにおいて、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの領域を統合した言語活動で活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 日常的な話題や社会的な話題について、英語で的確に聞いて理解したり、読んで理解したりした情報や考えなどを基に、目的に応じて論理的に構成して表現し伝えたり、詳細にやり取りしたりする力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 英語の背景にある文化を理解し、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、協力的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
--------------------------------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (16時間)	●Lesson 5	<p>【読むこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について読み取り、聞き手に伝わるように読むことができる (主体性) ●英語で書かれていることを主体的に読もうとすることができる</p> <p>【聞くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について聞き取り、要点を捉えることができる (主体性) ●英語で話されていることを主体的に聞こうとすることができる</p> <p>【話すこと（やりとり）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる</p> <p>【書くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【話すこと（発表）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとするすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・中間考査 (思判表)</li> <li>・授業中課題</li> <li>・中間考査 (主体性)</li> <li>・授業態度</li> </ul>
前期期末 まで (16時間)	●Lesson 6	<p>【読むこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について読み取り、聞き手に伝わるように読むことができる (主体性) ●英語で書かれていることを主体的に読もうとすることができる</p> <p>【聞くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について聞き取り、要点を捉えることができる (主体性) ●英語で話されていることを主体的に聞こうとすることができる</p> <p>【話すこと（やりとり）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる</p> <p>【書くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【話すこと（発表）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・期末考査 (思判表)</li> <li>・授業中課題</li> <li>・期末考査 (主体性)</li> <li>・授業態度</li> </ul>
後期中間 まで (18時間)	●Lesson 7	<p>【読むこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【聞くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について聞き取り、要点を捉えることができる (主体性) ●英語で話されていることを主体的に聞こうとすることができる</p> <p>【話すこと（やりとり）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる</p> <p>【書くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【話すこと（発表）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・中間考査 (思判表)</li> <li>・授業中課題</li> <li>・中間考査 (主体性)</li> <li>・授業態度</li> </ul>
後期期末 まで (16時間)	●Lesson 8	<p>【読むこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【聞くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について聞き取り、要点を捉えることができる (主体性) ●英語で話されていることを主体的に聞こうとすることができる</p> <p>【話すこと（やりとり）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる</p> <p>【書くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【話すこと（発表）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・期末考査 (思判表)</li> <li>・授業中課題</li> <li>・期末考査 (主体性)</li> <li>・授業態度</li> </ul>
終業式 まで (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Enjoy Reading 1</li> <li>●Enjoy Reading 2</li> <li>●Enjoy Reading 3</li> </ul>	<p>【読むこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【聞くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について聞き取り、要点を捉えることができる (主体性) ●英語で話されていることを主体的に聞こうとすることができる</p> <p>【話すこと（やりとり）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる</p> <p>【書くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【話すこと（発表）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト (思判表)</li> <li>・授業中課題 (主体性)</li> <li>・授業態度</li> </ul>

使用教材 参考図書	<p>【教科書】：AMITY English Communication Ⅱ</p> <p>【その他】：補助プリント</p>
--------------	--

<p>学習方法</p> <p>どのような に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して 教科書の内容を予習し、自分の課題を見つけ、授業の中で解決できるようにする。</p> <p>【対話的な学び】に関して 分からないことは積極的に先生やクラスメイトに尋ねることができるようにする。 相手の意見を尊重しながら、自分の意見も発信できるようにする。</p> <p>【深い学び】に関して 異文化を理解するため、教科書の内容だけでなく、クロームブックを活用しながら他国のこと や自国のことについて調べて、まとめることができるようにする。</p>
<p>評価方法</p> <p>学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について 課題考査、定期考査、パフォーマンステスト等</p> <p>【思考・判断・表現】について 課題考査、定期考査、授業中課題、パフォーマンステスト等</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について 授業態度、提出物、ポートフォリオ等</p>

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	外国語	科目	英語論理表現	単位数	1	開講 学年	3年
----	-----	----	--------	-----	---	----------	----

学習目標	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	何が でき るよ うに なるか	話すこと[やり取り]	「知識」 やり取りの際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。 「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手、話し手と効果的に伝え合うことができるようになる。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝え合うことができるようになる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語で伝え合おうとすることができるようになる。
		話すこと[発表]	「知識」 発表する際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。 「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手に効果的に伝えることができるようになる。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝えることができるようになる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語で伝えようとするようになる。
		書くこと	「知識」 書くことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになることを目指す。 「技能」 説明や描写の表現を工夫して読み手に効果的に書いて伝えることができるようになる。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて書いて伝えることができるようになる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に英語で書こうとすることができるようになる。

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (8時間)	UNIT 0 UNIT 1 UNIT 2	【話すこと（やりとり）】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
前期期末 まで (8時間)	UNIT 3 UNIT 4	【書くこと】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
後期中間 まで (9時間)	UNIT 5 UNIT 6	【話すこと（発表）】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝え	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性)

		<p>ることができる (主体性)●関連する話題について,主体的に伝えよう とすることができる</p>	<p>・授業態度</p>
<p>後期期末 まで (8時間)</p>	<p>UNIT 7 UNIT 8</p>		<p>(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度</p>
<p>終業式 まで (2時間)</p>	<p>UNIT 9 UNIT 10</p>		<p>(知 技) ・小テスト (思判表) ・授業中課題 (主体性) ・授業態度</p>

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】: 基礎からのジャンプアップノート 英作文 演習ドリル 【その他】: 補助プリント</p>
<p>学習方法</p> <p>どのよう に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して 教科書の内容を予習し, 自分の課題を見つけ, 授業の中で解決できるようにする。 【対話的な学び】に関して 分からないことは積極的に先生やクラスメイトに尋ねることができるようにする。 相手の意見を尊重しながら, 自分の意見も発信できるようにする。 【深い学び】に関して 異文化を理解するため, 教科書の内容だけでなく, クロームブックを活用しながら他国のこと や自国のことについて調べて, まとめることができるようにする。</p>
<p>評価方法</p> <p>学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について 課題考査, 定期考査, パフォーマンステスト等 【思考・判断・表現】について 課題考査, 定期考査, 授業中課題, パフォーマンステスト等 【主体的に学習に取り組む態度】について 授業態度, 提出物, ポートフォリオ等</p>

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	商業	科目	情報処理	単位数	2	開講 学年	3年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標  何ができるようになるか	情報の各分野における見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通じて、情報をビジネスに活用する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 知識及び技能 情報の意義、情報通信ネットワークの仕組み、情報の管理、情報の収集、加工及び分析、並びに情報の表現について理解し、情報をビジネスに活用するために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 思考力、判断力、表現力 情報技術をビジネスに活用する方法や、情報を効果的に表現する方法を多角的に考察し、適切に判断する力を養う。 (3) 学びに向かう力、人間性 情報技術を効果的に活用して問題を解決しようとする態度、情報を適正に扱う態度、及びビジネスにおける情報の役割を理解しようとする態度を養う。
-------------------------	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	自己評価欄
前期中間 まで (16時間)	● 1章 企業活動と情報処理 1節 情報処理の重要性 2節 情報モラルと法規 3節 コミュニケーションと情報デザイン	(知 技) ●企業における適切な情報処理について理解できるようになった ●情報処理における情報デザインについて理解するとともに、関連する技術が理解できるようになった ●ネットワーク社会の危険性に気づき、対策が理解できるようになった (思判表) ●情報システムの構成や処理方式の概要を理解し、具体的な利用例を説明することができるようになった ●個人情報や知的財産を保護することの意義を理解し、説明することができるようになった ●情報処理における情報デザインの意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだせることができるようになった (主体性) ●ビジネスにおける情報の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身につけようとするようになった ●法令を遵守しようとする態度を身に付けることができるようになった ●企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組むことができるようになった	知 技 ・定期考査  思判表 ・提出物  主体性 ・授業態度
前期期末 まで (16時間)	● 2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1節 コンピュータシステムの概要 2節 情報通信ネットワークのしくみと構成 3節 インターネットの活用	(知 技) ●コンピュータの基本的な機能と構成を理解できるようになった ●情報の価値や正確性について理解できるようになった ●インターネットの危険性などについて理解できるようになった ●コンピュータシステムと情報通信ネットワークについて実務での活用在即して理解できるようにな	知 技 ・定期考査  思判表 ・提出物  主体性 ・授業態度

	4節 情報セキュリティの確保	<p>った</p> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ビジネスに活用できるハードウェアとソフトウェアを適切に構成して、その機能を活用することができるようになった</li> <li>●情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持ち、対策などを考察できるようになった</li> <li>●科学的な根拠に基づいて、情報を収集し管理する方策を考案して実施し、評価・改善できるようになった</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●検索・収集にインターネットを利用することに興味を持ち、効率的な検索ができるようになった</li> <li>●電子メールのマナーなどについて興味を持ち、適切に利用できるようになった</li> <li>●適切な情報の収集と管理に主体的かつ協働的に取り組もうとすることができるようになった</li> </ul>	
後期中間 まで (18時間)	<p>●3章 情報の集計と分析</p> <p>1節 ビジネスと統計</p> <p>2節 関数を利用した表の作成</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●情報の重要性について理解できるようになった</li> <li>●基本的な操作や関数等について理解できるようになった</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●情報を分析して適切に表現できるようになった</li> <li>●表を作成する技術を身に付けることができるようになった</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●主体的かつ協働的に取り組むことができるようになった</li> </ul>	<p>知 技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> </ul> <p>思判表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> </ul> <p>主体性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> </ul>
後期期末 まで (16時間)	<p>●3章 情報の集計と分析</p> <p>3節 グラフの作成</p> <p>4節 情報の整列・検索・抽出</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●それぞれのグラフの特徴やグラフの構成要素が理解できるようになった</li> <li>●基準のキー項目でデータの整列ができるようになった</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●目的に応じた適切なグラフを作成し、グラフから読み取れる内容が理解できるようになった</li> <li>●フィルタ機能などを利用して、データの分類や整列、必要なデータの検索、抽出ができるようになった</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●主体的かつ協働的に取り組むことができるようになった</li> </ul>	<p>知 技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> </ul> <p>思判表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> </ul> <p>主体性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> </ul>
終業式 まで (4時間)	<p>●3章 情報の集計と分析</p> <p>5節 問題の発見と解決の方法</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ビジネスに関する問題の発見と解決について、基礎的な技法が理解できるようになった</li> </ul> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ビジネスに関する問題の発見と解決について、情報の提供に対する要求を分析し、科学的根拠に基づいて、表現し、評価・改善できるようになった</li> </ul> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ビジネスに関する問題の発見と解決について、自ら学び、適切な情報の提供と効果的な活用について主体的かつ協働的に取り組むことができるようになった</li> </ul>	<p>知 技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> </ul> <p>思判表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> </ul> <p>主体性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> </ul>

		になった	
--	--	------	--

<b>使用教材 参考図書</b>	<b>【教科書】</b> ：「最新情報処理 新訂版 Advanced Computing」（実教出版） <b>【その他】</b> ：①「全商情報処理検定模擬問題集3級」（実教出版） ②独自作成プリント
<b>学習方法</b>  <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; width: fit-content;">         どのよう に学ぶか       </div>	<b>【主体的な学び】</b> に関して 企業において情報を扱う具体的な場面を想定した実習に粘り強く取り組んでください。 <b>【対話的な学び】</b> に関して 情報の管理や活用に関する分析、表現方法や伝え方の工夫についての考察やグループでの話し合いに積極的に取り組んでください。 <b>【深い学び】</b> に関して 発展的な学びとして、様々なプログラミング言語から目的に応じた適切な言語を選択できるようになってください。
<b>評価方法</b>  <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; width: fit-content;">         学習到達状 況をどのよ うに確認す るか       </div>	<b>【知識・技能】</b> について 定期考査、単元テスト、実技テスト <b>【思考・判断・表現】</b> について 作品の作成、発表、グループでの話し合い、定期考査 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> について ノートやワークシート等における記述、授業中の発言、自己評価や相互評価等

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	商業	科目	簿記	単位数	2	開講 学年	3年
----	----	----	----	-----	---	----------	----

<p>学習目標</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; width: fit-content;">                 何ができるようになるか             </div>	<p>会計の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、会計情報を活用する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 企業の経済活動を適切に記録・計算・整理し、財務諸表を作成する一連の仕組みについて理解し、簿記に関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 企業の財政状態や経営成績を把握するための会計情報を多角的に考察し、適切に判断する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 企業の経済活動を適正に捉えようとする態度、及び会計情報を誠実かつ公正に扱う態度を養う。</p>
---	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	自己評価欄
前期中間 まで (16時間)	●第1章 企業の簿記	(知 技) ●簿記の基礎的な知識が理解できるようになった (思判表) ●簿記を学ぶことの意義と必要性を考えることができるようになった (主体性) ●企業の簿記の意義と役割を知り、簿記の学習に興味を示し、進んで学習しようとすることができるようになった	知 技 ・定期考査  思判表 ・提出物  主体性 ・授業態度
	●第2章 簿記の要素	(知 技) ●簿記の要素と貸借対照表・損益計算書の構造や役割、簿記一巡の手続きなど、簿記の仕組みが理解できるようになった (思判表) ●簿記の基礎概念として資産・負債・純資産・収益・費用は何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できるようになった (主体性) ●簿記の要素について関心を示し、把握しようとすることができるようになった	
	●第3章 取引と勘定	(知 技) ●簿記上の取引の意味や勘定記入法を理解ができるようになった (思判表) ●勘定記入について適切に判断し、正確におこなうことができるようになった (主体性) ●勘定に関心をもち、自分から進んで問題演習に取り組むことができるようになった	
前期期末 まで (16時間)	●第4章 仕訳と転記	(知 技) ●仕訳の意味や各勘定口座への転記のしかたが理解できるようになった (思判表) ●勘定の必要性や貸借平均、資本の増減と収益・費用の関係について思考を深めることができるようになった (主体性) ●仕訳や転記に関心をもち、自分から進んで問題演習に取り組むことができるようになった	知 技 ・定期考査  思判表 ・提出物  主体性 ・授業態度
	●第5章 仕訳帳と総勘定元帳	(知 技) ●仕訳帳と総勘定元帳の意味と記帳法を理解できるようになった (思判表) ●仕訳帳・総勘定元帳への記帳を適切に判断し、正確におこなうことができるようになった (主体性) ●企業の取引を帳簿に記入することに関心	

		を示し、仕訳と転記にも自ら進んで取り組むことができるようになった	
	●第6章 試算表	(知 技) ●試算表の意味や役割が理解できるようになった (思判表) ●試算表の作成について考え、適切に作成できるようになった (主体性) ●試算表の作成について関心を高め、作成法を習熟しようとするできるようになった	
後期中間 まで (18時間)	●第7章 決算	(知 技) ●貸借対照表と損益計算書の作成法が理解できるようになった (思判表) ●貸借対照表や損益計算書の作成を考え、適切に作成できるようになった (主体性) ●帳簿を締め切る決算に関心を持ち、その手続きや記帳を正確に行おうとすることができるようになった	知 技 ・定期考査
	●第8章 現金・預金の記帳	(知 技) ●現金・預金の取引に関する基本的な内容とその記帳法が理解できるようになった (思判表) ●現金・預金の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現することができるようになった (主体性) ●現金・預金の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとするようになった	思判表 ・提出物  主体性 ・授業態度
後期期末 まで (16時間)	●第9章 商品売買の記帳	(知 技) ●商品売買の取引に関する基本的な内容とその記帳法が理解できるようになった (思判表) ●商品売買の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現することができるようになった (主体性) ●商品売買の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとするようになった	知 技 ・定期考査
	●第10章 掛け取引の記帳	(知 技) ●掛け取引に関する基本的な内容とその記帳法が理解できるようになった (思判表) ●掛け取引の記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現することができるようになった (主体性) ●掛け取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとするようになった	思判表 ・提出物  主体性 ・授業態度
終業式 まで (4時間)	●第11章 固定資産の記帳	(知 技) ●固定資産の取引に関する基本的な内容とその記帳法が理解できるようになった (思判表) ●固定資産の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現することができるようになった (主体性) ●固定資産の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めることができるようになった	知 技 ・定期考査  思判表 ・提出物  主体性 ・授業態度

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】:「高校簿記 新訂版」(実教出版)  【その他】:①「最新段階式 全商3級簿記検定問題集(実教出版)  ②「よくわかる簿記シリーズ 合格トレーニング 日商簿記3級」(TAC出版)  ③独自作成プリント</p>
<p>学習方法</p> <p>どのよう に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して  実務に即した例題を取り入れた学習活動に粘り強く取り組んでください。  【対話的な学び】に関して  取引の記録と財務諸表の作成方法についてグループで考察し討論を行います。  【深い学び】に関して  基本的な会計用語については英語表記に慣れ親しむことができるようになるとともに、企業会計に関する法規と基準の改正などに随時対応できるようになってください。</p>
<p>評価方法</p> <p>学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について  定期考査、単元テスト、記帳問題  【思考・判断・表現】について  財務諸表の作成、発表、グループでの話し合い、定期考査  【主体的に学習に取り組む態度】について  ノートやワークシート等における記述、授業中の発言、自己評価や相互評価等</p>